

第7回 能代市総合計画市民協働会議

日 時 平成29年10月11日（水）
午後6時30分～午後7時40分
場 所 能代市役所 本庁舎1階
大会議室（旧議場）

概 要

1 開 会

2 委員長あいさつ

山内委員長から、会議の開催にあたってあいさつがありました。

3 協 議

(1) 分科会協議

○提言内容の最終確認

分科会ごとに、提言内容の最終確認が行われました。

(2) 全体協議

①各分科会の協議結果について

分科会ごとに協議した提言内容の修正案等について、報告がありました。

②提言内容の最終調整について

提言全体を通じた最終調整が行われ、特に質疑はなく、報告のあった修正案を反映したものを最終の提言とすることが了承されました。

4 提 言

全体協議で決定された提言について、山内委員長が提言文を読み上げ、齊藤市長へ提言書が手渡されました。

5 市長あいさつ

委員の皆様には、大変貴重な時間を割いてご出席いただき、様々な角度からご検討いただいたことに対し、心から深く感謝を申し上げます。

提言にもあったように、人口減少と少子化・高齢化が進む中でも、持続できるまちづくりを進めていかなければならない。そのためには、1次素案において重要課題と位置付けた「子どもを生き育てやすい環境づくり」「若者の定住につながる産業振興と雇用確保」「健康をキーワードとした各分野の施策の推進」をしっかりと進めていく必要がある。

1次素案では、将来像を引き続き「わ」のまち能代」とするとともに、まちづくりの基本姿勢に「真摯」「挑戦」「協力」、まちづくりの基本理念には「幸福共創」を掲げた。「幸福共創」という言葉には、“こころ”の豊かさ、“からだ”の豊かさ、“もの”の豊かさ、これらを実感できるふるさと能代を目指していきたいという思いを込めた。

そのために、まずは基幹産業である農業と林業が元気にならなければならない。ねぎをはじめとした農業、そして林業を元気にしていきたいと思っている。

さらには、風力発電等の再生可能エネルギーによる「エネルギーのまち能代」を目指し、能代をエネルギーの拠点にできるよう、鋭意取組を進めているところである。

委員の皆様は、それぞれの分野において、あるいは地域に根ざして、実際のまちづくりの取組を行っておられる方々なので、今後とも市のまちづくりの中心的な役割を担っていただくことで、能代を元気にしていく大きな力を発揮していただけるものと期待している。

6 正副委員長及びアドバイザーあいさつ

(山内委員長より)

本日、市民協働会議として、能代市の次期総合計画に対する提案を完成し、無事に市長にお渡しできた。委員の皆様、アドバイザーの先生、学生達、市民協働会議に関わった全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

この会議を通して、委員の皆様から実に多くの有意で貴重な意見、そして能代に対する熱い思いを伺うことができた。ただ、その全てを提言書の中に活字として盛り込むことができなかつたのは残念であり、委員長として力不足をお詫び申し上げます。

一言申し添えると、自然科学の研究では、その研究において行われた全ての調査や実験のデータが論文に掲載されるということは、普通はない。しかしながら、研究にとって不要な実験や調査というものは一つもない。論文に掲載されなくても、その研究の支えとして重要であったり、次の新しい研究の道しるべとなることがよくある。皆様が能代への思いをそれぞれの形で発揮していただくことが、能代の総合力アップ、能代の未来へ繋がるものと確信している。

(佐々木副委員長より)

委員の皆さんの専門的な知識から出された意見や、能代市への愛情を踏まえた提言書を作成することができた。ここにおられる皆さんの尽力の賜物であり、改めて感謝を申し上げます。

この提言は、平成30年度からの総合計画に市民の声として取り込まれていくと思うが、あくまでもスタートにすぎない。能代市がより良いまちとして、持続可能で発展できるまちとして、我々市民も含めて、積極的にまちづくりに参加していかなければならないと思う。皆さんは市民の代表として、Watcherとしてだけでなく、Playerとして頑張っていたいただければと思う。

(荒井アドバイザーより)

今回の会議は私にとっても非常に良い経験となった。特に印象的だったのが、皆さんの地域に対する思いが強すぎて、議論が収束しないということもあつたり、一方で、意外な着眼点が見つかったり、貴重な資源が見つかったり、あるいは議論がうまくかみ合せて、話が強力に進んでいくというような瞬間も目にすることができたことが、非常に印象的だった。

日本全国で少子化が問題となっているが、地域から発せられるやる気のようなものが失われない限り、地域の活力は決して無くならないものと思っている。

地域を元気にするために何が必要なのかということは、非常にシンプルだがかなり難解な問題だと思っている。皆さんそれぞれが能代を元気にしていく一つの力となることを願っている。

(和泉副アドバイザーより)

委員の皆さんは、それぞれの企業や組織・団体の代表として、この会議に参加されているが、なぜ皆さんがこの場に集まっているかということ、能代市が皆さんと協働していきたい、連携していきたいと考えているからだろうと思う。

今回十分に協議できなかったところもあると思うが、市の計画全体がどういうつくりになっているのか、どういうことに市が取り組んで、どういう分野でどういう人たちが活動しているのか、能代市全体について考える貴重な機会だったのではないと思う。

これからの能代市の計画に携わったことを自分達の誉れとして、周りの方、所属している団体の方々に、自分達が能代市をつくっているという意識を持ってもらうために、これからも能代市の計画や事業、様々な活動に積極的に参加してもらえればと思う。

7 閉会